## ろうわ SDGs

2025年6月6日(金) 高等部(理科担当 宇野)

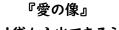
## 「巳年に、ワクワクするお客さま」

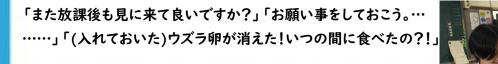
今回は、バナナのことではありません。

本校の児童生徒用玄関の近くには、『愛の像』(本校を創立した西川吉之助さん と娘のはま子さんの像)があります。6月4日(水)の朝、登校時のことでした。子ども たちが、『愛の像』の近くに、白いヘビがいることを発見しました。本校の敷地や周 辺には、餌となる生物がたくさん生息しています。

業務員さんが保護してくださり、理科室で袋に入れて一時保護することになりま した。早速、各理科の授業で観察タイムとなりました。

「白いヘビだから、幸せになりそう」「うわ、怖い。でも袋越しにちょっと触ってみよ う」「爬虫類には、他にはどんな仲間がいたかな?」「かわいい。目が丸くて赤くて、 イクラみたい」「何を食べるのかな?」「オス?メス?」「総排泄腔…ということは糞も 卵も1つの穴からされるのか」「ヘビって、音をきけるの?」「急に動いてびっくりした!袋から出てきそう」





まさに生きた教材!体長はIm超えです。幼稚部、小学部、中学 部、高等部の子どもたちや本校職員が興味津々で理科室を訪れる ようになりました。

6月5日(木)放課後、『滋賀県立琵琶湖博物館』の金尾滋史学芸

員にお越しいただき、シロヘビをみていただきました。すぐに『びわこベース(大津市木戸)』の関慎太郎氏



と詳しく確認されたところ、【アオダイショウ】のアルビ ノと判明されました。ただ、非常に人懐こく(餌と間違 えて噛んでくることはありましたが)、野生個体なのか、 飼育個体なのか、判断することは難しいようです。

現在は、『びわこベース』さんに引き取っていただ き、元気に過ごしているようです。

今年は『巳年』です。何とも珍しい、そしてみんなが ワクワクする訪問者でした。記事をご覧になっている みなさまにも、素敵な幸せが訪れますように☆

